

渋谷駅前エリアマネジメント協議会の今年度の取り組み状況（案）

1. 施設の管理に関する事項

(1) 東京都エリマネ支援事業実施に向けた整理

ア. 公共施設の管理

- ・清掃レベルについて関係者間協議
- ・エリマネ収益の活用について検討

(2) ルールの検討

ア. 管理区分とエリマネ収益の考え方

- ・スキーム素案を作成し調整中

イ. 内容

- ・清掃、設備保守、日常運用、警備に係る費用 → 東国地下広場での試算により議論

2. 広場の利用に関する事項

(1) 利用案たたき台の作成に着手

ア. 区分イメージ

- ・公共広場等：ハチ公広場、東口地下広場、国道地下広場、各種デッキ
- ・地区施設：駅・4階上空広場、桜・にぎわい広場、桜・丘の上広場

イ. スキームイメージ

- ・公共広場等、地区施設の活用方法の検討

ウ. 利用ルールイメージ

- ・イベント種類に応じた申込み優先順位を検討

3. 街区共同イベントに関する事項

(1) 渋谷地下工事現場見学会を実施（8/29,30）

ア. 内容

- ・NPO団体および工事現場事務所と連携
- ・小学校高学年向け、親子 33 組 66 名参加
- ・ヒカリエ 9 階→区画地下工事現場→解体工事現場

イ. 効果

- ・情報発信：主要メディア 16 社による取材

4. 屋外広告物に関する事項

(1) 渋谷らしい屋外広告物のあり方

- ・渋谷駅西口広場を含む公共空間で、2015年度より屋外広告を掲出
→3年間で実施・検証を行う

(2) 東京都エリアマネジメント支援事業の活用に向けた協議

- ・東京都広告物審議会への付議
→具体的掲出場所の選定
→今年度中の付議を目指し東京都との協議に着手

(3) 屋外広告物地域ルール案の作成

- ・自主審査委員 →学識者2名、専門家1名他
- ・自主審査基準 →審査フロー、技術基準、広告デザインの質を担保するルール等

(4) 持続可能な事業スキーム構築のための課題

- ・駅前エリマネと街区エリマネの役割整理

- ・法人格の取得

5.情報発信に関する事項

(1) SHIBYA FUTURE VISION の設置

- ・1/ 500 渋谷駅周辺都市模型を渋谷区・事業者と連携し渋谷ヒカリエ 11 階に展示
- ・再開発の主旨をPRするサイネージおよびパネル制作

(2)ホームページの改善検討

- ・VR 映像、模型写真の掲載
- ・イベント情報の発信

(3)リーフレットの作成

- ・完成後のイメージを中心に情報を記載
- ・発行部数 5,000 部予定
- ・SHIBYA FUTURE VISION 等に設置配布予定

6.工事中の魅力付けに関する事項

(1)仮囲いへの装飾掲出スキームの構築

ア.仮囲い管理者（区画整理等）とのルール決め

- ・仮囲い自体管理：仮囲い管理者
- ・仮囲い装飾管理：駅前エリマネ（および装飾掲出希望者）

イ.装飾拡大に向けた、デザイン制作と掲出の基本的考え方

- ・企画デザイン制作→駅前エリマネ
- ・制作掲出→事業者、各街区

(2)仮囲い装飾の実施

ア.渋谷の地域イベントとの連携

- ・渋谷音楽祭／渋谷芸術祭／金王八幡宮例大祭

イ.渋谷の学校との連携

- ・桑沢デザイン研究所

ウ.渋谷の将来像発信

- ・SHIBUYA VIVID

(3)工事中の案内誘導

ア.共通MAPの改善検討

- ・東口 2 階デッキ通路切り替えに向けた改善

イ.工事中の案内についての検討

- ・CM協議会と連携

7.防災や防犯に関する事項

(1)都市再生安全確保計画策定に関する情報収集

ア.先行事例である新宿区ヒアリング

- ・策定主体は新宿区、工学院大学と連携して策定。

イ.策定に係る説明会出席（内閣官房、国土交通省都市局主催）

- ・来年度、渋谷区主体で作成予定。内容についてはエリマネも協力。

8.エネルギーや環境に関する事項

- ・基盤整備や各街区の計画についてホームページ等による情報発信の強化・拡充

9.観光に関する事項

ア.外国人観光客対応

- ・リーフレットに英語を併記し、渋谷再開発等の理解促進

10.駐車場運用に関する事項

(1)駐車場一体運用に向けた方針の整理

ア.管制メーカーへの提案依頼

イ.サービス水準の擦りあわせの検討

(2)スケジュールの整理

ア.事業進捗状況の共有

イ.一体運用に向けた各フェーズの検討時期を整理

11.大規模建築物等のデザインや基盤計画の調整

(1)デザイン会議開催時の各街区事前共有の実施

- ・10/27 桜丘口地区デザイン変更

(2)情報共有プラットフォームの構築

ア.5街区パースおよびVR動画等の駅前エリマネ管理

イ.クラウドサービスの導入

→行政および各街区担当者の決定

→ID PASS による会員間情報共有の運用に向け準備

12.その他目的達成のため必要な事項

(1)国家戦略特区（道路法の特例）活用主体として応募

- ・渋谷駅周辺街路において、広告塔又は看板の設置および食事施設、購買施設を設置する。

(2)他団体との情報交換の実施

- ・梅田地区IRアマネ[®] M[®]外実践連絡会（10/1）

以上

■渋谷駅前でのエリアマネジメント社会実験の実施について

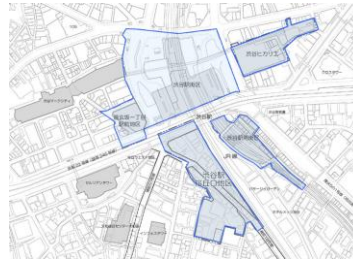
1. 渋谷駅前エリアマネジメント協議会について

官民が連携し、工事期間中を含めたまちの賑わい、国際競争力の向上と防災機能の強化を実現するための調整・方向付けを行う

渋谷駅前エリアマネジメント協議会

【5街区+区画整理+渋谷区+二建+東国】

2013年5月30日設立



<対象範囲>
特区および接続する公共空間

街区エリマネ

駅街区

南街区

道玄坂

桜丘口

ヒカリエ

<活動項目>

- ①施設管理 ②広場の利用 ③街区共同イベント ④屋外広告物地域ルール
⑤情報発信 ⑥工事中の魅力づけ ⑦防災・防犯 ⑧環境・AEMS
⑨観光 ⑩駐車場運用 ⑪デザイン・基盤調整 ⑫その他

2. 渋谷駅前でのエリアマネジメント活動における当面の課題

- ①公共施設等の維持管理・修繕等の役割分担の検討【施設管理】
- ②渋谷の将来像と先進的な工事内容の発信【情報発信】
- ③渋谷らしい賑わいと景観を創出する屋外広告物のありかた検討【屋外広告物地域ルール】
- ④国内外を問わず渋谷を訪れたいと思う人を増やすための取組み【観光】
- ⑤イベントによるまちの賑わいや魅力づけのための取組み【街区共同イベント】
- ⑥工事中の賑わい創出と分かりやすい案内誘導のデザイン検討【工事中の魅力づけ】
- ⑦災害時の官民の役割分担と安全確保計画の策定に向けた調整【防災・防犯】

- ・これらの課題についての具体的な対応策の検討
- ・持続性のあるエリアマネジメント組織のありかたと活動財源

社会実験の実施により検証

3. 社会実験について

(1) 概要

- ①実施内容 「東京都エリアマネジメント支援事業」を活用し、道路である駅前広場や歩行者デッキ等の公共施設等に屋外広告を展開し、収益を公益的取組みに充当する
- ②実施期間 3年間（予定）
- ③対象箇所 **ハチ公前広場、東西駅前広場
東口2階デッキ 工事用仮囲い等**
- ④掲出広告物 別紙参照

(2) 検証内容

- ①収入の受入方法と公益的取組への充当方法
- ②公益的取組の実施コストと、期待収益の算出
- ③関係行政機関等との調整課題
- ④渋谷らしい屋外広告のありかた
—安全性、景観、地域ルール案
- ⑤エリアマネジメント組織のありよう
—税制、形態（一般社団、株式会社等）

(3) 公益的取組み

- ・**清掃サービスレベルの向上**
あるべき清掃サービスレベルについての調査
渋谷区清掃活動への物品等提供
- ・**情報発信**
将来像や工事等の情報発信ツールの維持拡充
- ・**オリンピックに向けたおもてなし活動への貢献**
観光協会等地元団体との連携
- ・**工事中の賑わい創出、案内誘導**
仮囲い等の装飾
工事中の分かりやすい案内誘導のデザイン統一



4. 今後の展開

I期（2015～17年）

II期（18～20年）

III期（21～27年）

- 社会実験の実施・検証
 - ・課題への対応
 - ・事業スキーム等の検討

- エリマネ活動の本格展開
 - ・ライトアップ・パブリック対応
 - ・民地を含めた展開

- エリマネ活動の拡充
 - ・西口広場への展開
 - ・持続的な活動展開